

5-1 大館東地域

(1) 地域の現況

地域の概要	
面積	144.84km ² 市全体の16%
人口	32,786人、市全体の44% ※2015(平成27)年国勢調査
世帯数	13,822世帯、市全体の49% ※2015(平成27)年国勢調査
15年間の人口増減	2,868人の減少(8%減) 2000(平成12)年35,654人から 2015(平成27)年32,786人へ ※国勢調査



地域を代表する主な施設等	
施設等	市役所、総合福祉センター、大館市民文化会館、市立中央公民館、栗盛記念図書館、城西体育館、樹海体育館、大館樹海ドーム、秋田犬会館、消防本部、大館市斎場、地域包括支援センター水交苑・かつら、北地区コミュニティセンター、保健センター、大館八幡神社、桜櫓館、法務局
駅	大館駅(JR奥羽本線・JR花輪線)、東大館駅(JR花輪線)
医療施設	大館市立総合病院、休日夜間急患センター、大館記念病院
学校	桂城小学校、城南小学校、城西小学校、有浦小学校、長木小学校、第一中学校、東中学校、県立大館鳳鳴高等学校、県立大館鳳鳴高等学校桜櫓館、秋田看護福祉大学、秋田職業能力開発短期大学校
工業団地	—
公園緑地	桂城公園、長根山運動公園、大館運動公園、長木川河川緑地、小柄沢墓地公園
景観	鳳凰山、岩神ふれあいの森、長木川溪流

大館東地域は、市東部に位置し、北に青森県、東側が鹿角市や小坂町に隣接する地域です。面積は144.84km²で、市全体の16%を占めています。

東部から西部には一級河川である米代川の支流である長木川が流れ、西南部や、東南部の川沿いに平地がみられ、その他の地域はほとんどが山地となっています。西南部の平地は用途地域に指定されており、長木川を挟んで南北に市街地を形成しています。

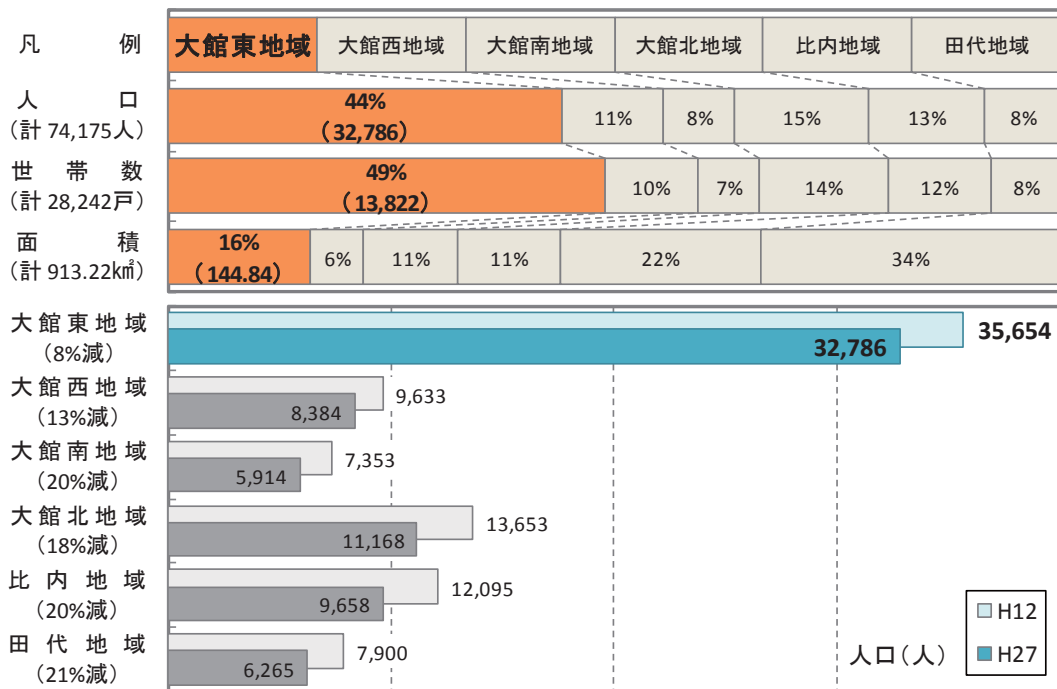
中心市街地には、市役所をはじめとする官公庁等の施設、保健福祉施設、文化スポーツ施設、医療施設等、都市サービス機能が集積しています。歴史的風致維持向上計画に基づく取り組みや、本市を代表する祭りが行われ、市の中心地として機能しています。

【土地利用】

- 長木川左岸側の台地は藩政時代の城下町を前身とする市街地で、これまで度重なる大火に見舞われ、土地区画整理事業等の都市基盤整備が進められてきました。
- 大館駅周辺と大町周辺をつなぐように中心市街地が形成されており、商業施設をはじめ、官公庁施設等が集積していますが、中心市街地としての活力を失いつつあります。
- 西部の国道7号沿道は、郊外型商業施設が集積する沿道型商業地として利用されています。
- 住宅地は商業地等を取り巻くように形成され、既存住宅地の中には、住宅が密集して狭あい道路が複雑に入り組んだところもあります。近年では空き地、空き家もみられます。
- 大田面地区を中心に大型商業施設が立地し、その周辺の宅地化も進む等、市街化が進行しています。
- 東部の山地は国有林等の森林となっており、長木川沿いの平地が農用地として利用され、集落が点在しています。

【人口・世帯】

- 人口 32,786 人で本市の 44%、世帯数 13,822 世帯で本市の 49%を占めており、本市の中で最も多い人口・世帯規模となっています。1世帯当たりの人員は2.4人となっています。
- 2000（平成12）年からの人口減少率は8%であり、約2,900人減少しています。



資料：人口・世帯…2000（平成12）年、2015（平成27）年 国勢調査
 面積…2014（平成26）年10月1日 GIS・国土の情報（全国都府県市区町村の面積）
 ※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

【文化・風景・特産物】

- 歴史的風致維持向上計画の重点区域に指定され、歴まち散歩が行われる等、大館城跡の歴史や文化を活かしたまちなみ景観づくりを進めています。
- 国指定重要文化財の大館八幡神社本殿や、国登録有形文化財の桜櫓館が立地しています。
- 国指定天然記念物のニホンザリガニ南限生息地等があります。
- 忠犬ハチ公や、国指定天然記念物秋田犬のゆかりの地であることから、犬種博物館として秋田犬会館が立地しています。
- 鳳凰山（大文字）等の山地や河川に代表される優れた自然があり、白鳥が飛来する長木川は身近な自然として地域住民に親しまれています。
- 茂内屋敷地域は優れた農村景観を維持している地域として、「守りたい秋田の里地里山50」に認定されています。

【観光レクリエーション】

- 世界的に注目が集まる秋田犬を活かし、大館駅近くに観光交流施設として秋田犬の里の整備が進められています。
- 桂城公園、岩神ふれあいの森等といった桜の名所のほか、大館アメッコ市や大館神明社例祭、大館大文字まつり等、伝統行事の開催地となっており、多くの観光客が訪れています。
- 長木川はレクリエーションの場として、また、上流は溪流釣りの場として広く市民に親しまれています。

【主要公共施設】

- 中心市街地には市役所をはじめとする官公庁等の施設、保健福祉施設、文化スポーツ施設、医療施設等が集積し、大学や高等学校等の文教施設が多く立地しており、都市サービス機能が充実しています。
- 民間資本を活用した大町の再開発として、民間の店舗・住宅と一体となった大町借上住宅が完成し、市営住宅の向町住宅・新町住宅・中町住宅を建替えました。
- 長木川河川緑地や桂城公園、長根山運動公園、大館樹海ドーム等が立地しています。

【交通基盤】

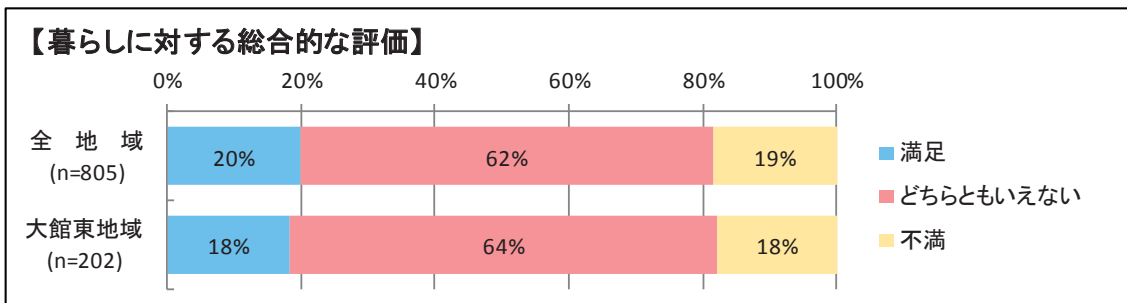
- JR奥羽本線・JR花輪線の大館駅、JR花輪線の東大館駅が立地しています。
- 市街地の国道7号を中心に、東部の小坂町と連結する（主）大館十和田湖線（樹海ライン）や、大館西地域・北秋田市と連結する（一）大館鷹巣線、大館南地域・比内地域・鹿角市と連結する旧国道103号が、自動車交通の骨格を形成しています。
- 有浦東台線の整備事業が完了し、バリアフリーの歩道を整備しました。
- （主）大館十和田湖線の広幅員歩道と観音堂地区の交差点改良が完了しました。
- 地域内の都市計画道路は、整備率が低くなっています。

【まちづくり活動】

- 土地区画整理事業に向けて、御成町南地区活性化協議会が「通り再生プログラム事業」によるまちづくり活動を行いました。
- おおだて飲食店マップを製作し、来訪のきっかけづくりを推進しています。
- 桂城・城南・城西・有浦・長木小学校、第一・東中学校では、ふるさとキャリア教育の一環として、ふるさとCMづくりやエゾタンポポの植栽、古代米の栽培等の活動を行っています。

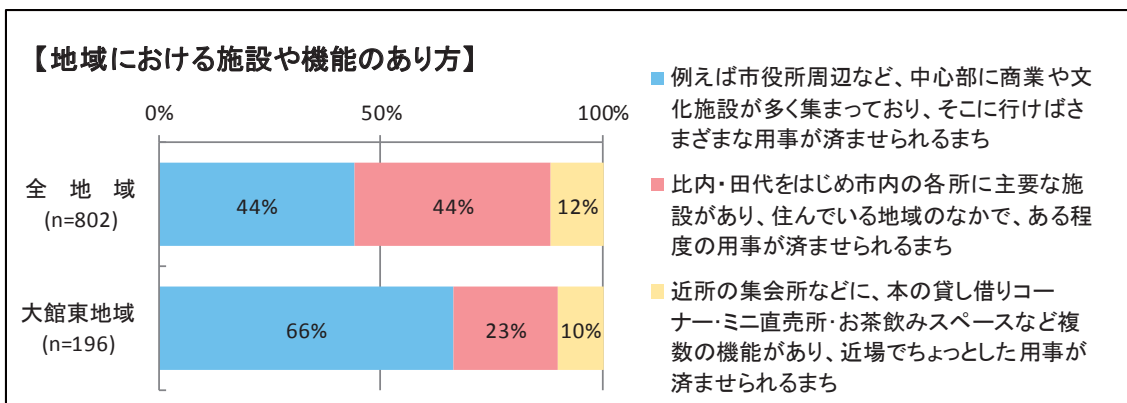
【市民アンケート】

- 市民アンケートのうち、全体の約24%が大館東地域（大館・長木）に居住している方の回答となっています。市全体の結果と比較し、大館東地域の回答の一部をとりまとめます。
- 大館東地域では、本市における総合的な暮らしやすさについて、「満足」・「不満」と回答した割合がそれぞれ約2割で、市全体と類似した傾向となっています。



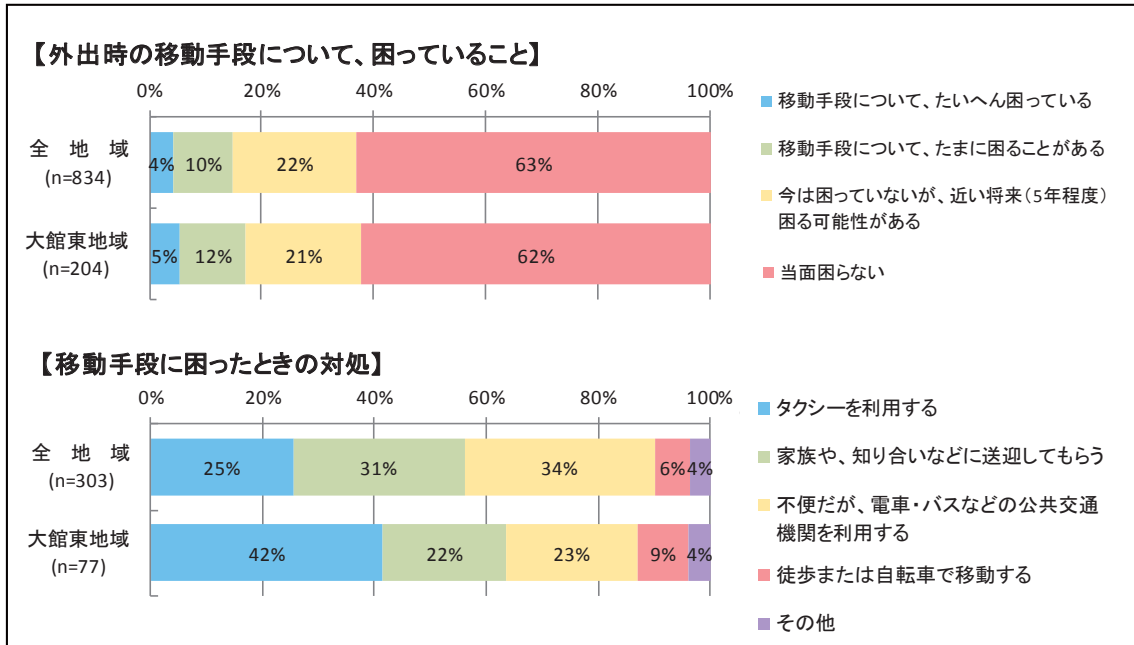
※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

- 地域における施設や機能のあり方について、「例えば市役所周辺等、中心部に商業や文化施設が多く集まっており、そこに行けばさまざまな用事が済ませられるまち」を目指したいと回答する方の割合が6割以上となり、市全体と比較して高くなっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

- 外出時の移動手段に困ることについて、移動手段に「当面困らない」が最も多く、市全体の割合と類似しています。
- 移動手段に困ったときは「タクシーを利用する」という回答が最も多く、4割を超えています。「公共交通機関を利用する」という回答は約2割で、市全体と比較して10%程度低くなっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。



写真 大館駅前

(2) まちづくりの課題と方針

大館東地域にある中心市街地は、古くは城下町、羽州街道が通過する宿場町として、鉾山の振興を背景とした賑わいのあるまちなかとして発展してきました。この中心市街地は、本市を代表する祭りも開催され、活力の源でもある地域ですが、人口減少や少子高齢化等の影響を受けて空き地・空き家が増加する等、活力の低下が深刻な状況となっています。

市民ワークショップにおいては、市の中心として、夢にチャレンジできるまち、若者をはじめとした多世代の人々や秋田犬が常に集い、交流できる場にしたいという意見が活発に出されました。

大館東地域においては、既存の施設や空き地を有効活用しながら、常にさまざまな世代が集うまちづくりを進めていく必要があります。

これらを踏まえ、将来像を「夢 チャレンジおおだて ～みんなが集う大館をつくろう～」と掲げ、全体構想で定めた5つの柱ごとに、まちづくりに関する課題と方針をとりまとめます。



写真 市民ワークショップの様子

＜大館東地域が目指す姿の概要＞

現況・課題				
【土地利用】	【まちなか】	【地域の力】	【資源】	【機能】
・まちの活性化につながる計画的な土地利用の推進が求められる。	・空き地、空き家の有効活用、民間活力の活用等による賑わいの再生が求められる。	・多世代が集い、交流できる場づくりが求められる。	・歴史や文化を活かしたまちなみ景観づくりが求められる。	・交通環境の向上が求められる。 ・都市計画道路の整備率の向上が求められる。

大館東地域
将来像夢 チャレンジおおだて
～みんなが集う大館をつくろう～

まちづくりの方針

1	土地利用がもっと充実する	都市機能誘導区域を中心に、まちの活性化につながる計画的な土地利用を図ります。
2	もっとまちなかを活用する	空き地や空き家の有効活用、民間活力の活用等により、中心市街地の魅力を高める仕組みづくりを推進し、さまざまな世代が集い、賑わいのあるまちなかの形成を図ります。
3	もっと地域の力を活用する	空き店舗等を活用しながら、若者が働きやすい環境づくりを目指し、住民と協働した地域づくりを推進します。
4	もっと資源をつなげる	歴史的なまちなみ景観づくり、秋田犬を活かしたまちづくりを推進するとともに、気軽に楽しめる観光・レクリエーションの場を確保します。
5	もっと機能をつなげる	交通環境の向上や、まちなかの住環境を支える基盤づくり等を推進するとともに、都市計画道路の見直し・評価を行います。

<5つの柱に基づくまちづくりの課題と方針>

1 土地利用がもっと充実する

【課題】 中心市街地では、まちの活性化につながる計画的な土地利用が求められます。

▶ 【方針】

- 御成町南地区土地区画整理事業により、まちなかの魅力回復、既存の都市基盤や空き地の有効活用、賑わいのある中心市街地の形成を進めます。
- 賑わいの再生が求められる大町及び周辺地区については、民間活力を導入した旧正札竹村の跡地利用等、空き地や空き家の有効活用を検討します。
- （主）大館十和田湖線の沿道地区は、調和の取れた商業・業務施設地として計画的な都市的土地利用を図ります。

【課題】 長木川沿いの平地等、基盤産業を支える農用地の確保が求められます。

▶ 【方針】

- 大田面地区を中心に大型商業施設が立地し、周辺の宅地化が進んでいることを踏まえ、計画的な土地利用を進めます。
- 農業の担い手を確保し、効率的な農業生産活動を推進するため、芦田子地区や雪沢地区におけるほ場整備事業を進めます。

【課題】 東部の山地は国有林等となっており、豊かな自然環境の維持・保全が求められます。

▶ 【方針】

- 鳳凰山等の東部の山地部を含めた自然環境は、ふるさとの原風景として維持・保全を図ります。

2 もっとまちなかを活用する

【課題】 商業、業務、医療、文化等の高次都市機能が集積するまちなかは、市全体の都市サービス提供の中心的な役割を担っていますが、活力の低下、空き家や空き店舗の増加が課題となっており、立地適正化計画を踏まえた利便性が高く暮らしやすいまちなかの形成が期待されます。

▶ 【方針】

- 商業振興策と連携しながら、住民が主体となった地域活動、まちなかの魅力回復や既存の都市基盤の有効活用、土地区画整理事業の推進、観光情報の集約による観光拠点の形成等により、さまざまな世代が集う賑わいのある中心市街地の形成を目指します。
- まちなかの利便性確保や賑わいの創出に向け、空き地や空き店舗等を活用した官民連携による空間の整備検討やリノベーションまちづくりを進めます。
- 子育てしやすい環境を充実させ、子育て世代の定住を目指すため、まちなかにおける子育て支援拠点の確保・充実を図ります。

【課題】中心市街地には、民間商業施設や公営駐車場解体予定後の公有地、老朽化し利用者が減少している運動公園等といった公的資産が存在しており、まちなかの重要な資源として、今後利活用していくことが求められます。

【方針】

- まちなかの公有地や公園等の公的資産を活用し、中心部に不足している機能を誘導することで、利便性の向上や賑わいの創出を図ります。
- 既存公共施設の統廃合・統合・廃止、用途転用等の多様な活用により、まちの賑わいと交流を促進し、利便性の高い拠点施設の確保を検討します。

【課題】大館駅は、市の玄関口としてのポテンシャルが活かしきれていない状況であり、交通結節点としての機能や、賑わい創出による求心力の向上を図ることが必要です。

【方針】

- 大館駅の交通結節点としての機能向上を図るとともに、周辺に観光や交流の核となる拠点を整備し、賑わいや交流の促進を図ります。
- 大館駅前地区都市再生整備計画による駅周辺の整備として、駅前広場の整備や周辺の電線地中化、秋田犬の里の整備等を進めます。

3 もっと地域の力を活用する

【課題】市民ワークショップでは、常に人々が集まるまちなかづくりや、子どもたちと高齢者がふれあう機会づくりに関する意見が挙げられています。

【方針】

- 支援の必要な高齢者や障がいのある人が安心して暮らすことのできる支援体制や環境整備を進めるため、利便性の高い中心市街地に相談窓口等のサービス機能を集約し、高齢者、障がい者、子ども及び子育て世代等、さまざまな世代の相互交流の場を創出し、多世代型地域共生社会の構築に向けた拠点機能の向上を図ります。

【課題】若者が希望する職場に就ける環境や、活躍できる場が求められています。また、まちなかの商店街においては、事業主が高齢化し、事業の継続が困難となることで、空き店舗化するケースがみられます。

【方針】

- 商工団体や金融機関等の連携、国・県等の支援策の活用を図り、若者の起業・創業に対するニーズに応じた総合的な支援を進めます。
- 老朽化した空き店舗等について、修繕に対する支援等により有効活用を促進します。
- 創業支援制度や空き店舗利活用制度により、若者の起業を支援します。

【課題】用途地域外等の農林業を支える地域は、地域コミュニティの維持や生活機能の確保等が困難になることが懸念されます。

【方針】

- 用途地域外等の農林業を支える地域は、農林業振興や景観・環境保全等の関係施策と連携するとともに、小さな拠点の形成について検討を進めます。

【課題】 郊外部の農村集落では、居住空間と土砂災害危険区域が近接しており、対策が求められます。

【方針】

○居住空間と土砂災害危険区域が近接している箇所については、土砂災害対策をはじめとする安全な地域づくりを推進します。

【課題】 ふるさとキャリア教育や市民ワークショップを通して、地域づくりについて考える気運が高まり、これらの取り組みを継続・活性化することが求められます。

【方針】

- ふるさとキャリア教育や地域応援プランによる地域づくりを継続し、子どもから高齢者まで、あらゆる年代の人々による交流を推進します。
- 近年、参加者が減少している大館神明社例祭や、規模が縮小している大館大文字まつりを盛り上げ、暮らしの楽しさや魅力をさらに向上させる地域づくりを推進します。
- 祭文化の継承を支援するとともに、回遊性の向上を図るため、歩きやすい環境づくりを推進します。

4 もっと資源をつなげる

【課題】 歴史的風致維持向上計画を踏まえ、大館城跡の歴史や文化を活かしたまちなみ景観づくりを引き続き進めるとともに、本市を代表する祭りやイベント等の開催地であり、秋田犬との交流ができる等の強みをさらに活用することが期待されます。

【方針】

- まちなかに残る歴史的建造物の保全や良好な景観の形成、大館城址周辺のまちなみ環境整備等により、地域活性化と定住の促進や、来街者のまち歩きとの推進と交流人口の拡大を目指します。
- 秋田犬の里を活用し、外国人観光客にも対応したおもてなしのまちづくりを推進します。

【課題】 公園や緑地等、市民が気軽に楽しめるレクリエーションの場を確保するとともに、長木川の渓谷美と溪流釣り等による観光交流の促進が求められます。

【方針】

- 長木川河川緑地や桂城公園、市街地に隣接する長根山運動公園等は、身近に四季の変化を感じることでできる拠点として、河川環境を保全しつつ、観光・レクリエーション等の利活用を図ります。
- 大館樹海ドーム周辺は、市民のスポーツレクリエーションの場としての活用を図り、大規模なスポーツイベントの継続開催を推進します。
- 街区公園等が不足する地域では、身近な公園の適正な配置と整備推進を図るとともに、公園長寿命化計画に基づき、適正な維持管理を進めます。

5 もっと機能をつなげる

【課題】人口減少・高齢化が進行する中で、自家用車に頼らなくても、徒歩や自転車、公共交通等により移動しやすい安全で安心して暮らせるまちづくりが必要です。

【方針】

- 大館駅の拠点機能の向上に向けた整備や市内循環バス「ハチ公号」の運行等、利便性の高い交通環境の維持・充実を図ります。
- 交通結節点における情報提供施設や待合環境整備、循環バスの充実や多様な移動手段との連携等、まちなかを気軽に移動できる交通網の形成に取り組みます。
- 分かりやすい運行情報・乗継情報の提供等、運行状況の見える化による公共交通の利便性向上と利用促進を図ります。
- 冬季における地域ボランティアによるバス待合所付近の除排雪等、地域と連携した維持管理の体制構築を検討します。
- 安全性や災害時への対応、冬季における雪対策、環境、景観等に配慮した歩行空間の整備等を促進することによって、誰もが安心して歩いて暮らせるまちづくりを目指します。

【課題】地域の骨格を形成する道路について、まちなかにふさわしい交通ネットワークの機能向上が求められます。

【方針】

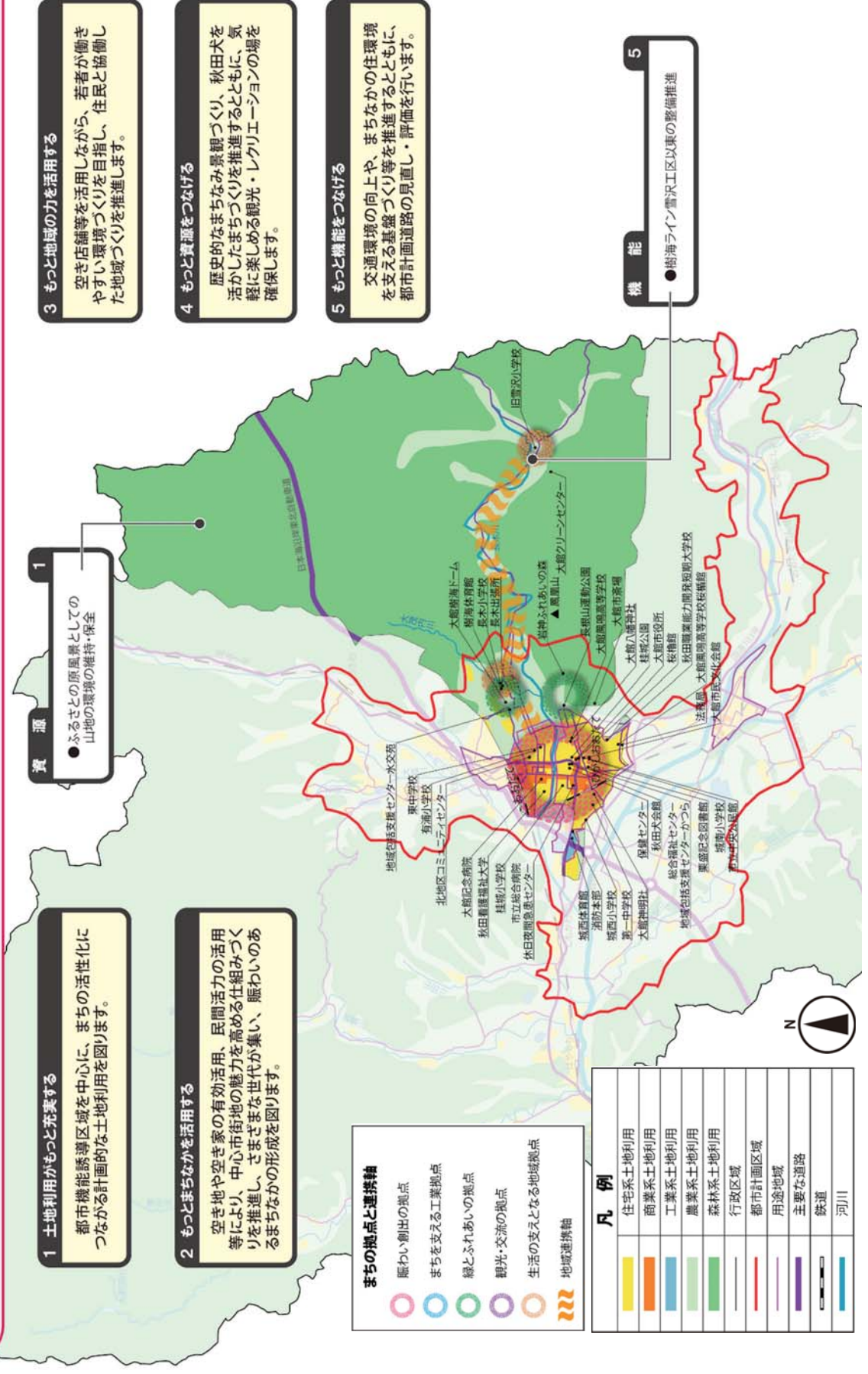
- 国道7号（長倉地区）や主要地方道大館駅停車場線などの電線地中化に向けた国・県との連携・調整を行います。
- 2017（平成29）年度秋田県公共事業評価専門委員会にて、（主）大館十和田湖線の雪沢工区について、延長約3kmの拡幅、バイパス事業が事業実施は妥当と評価されたことを踏まえ、今後は雪沢工区以東の事業化を目指します。
- 長期にわたって整備が進んでいない都市計画道路については、必要性や事業実現性を評価し、継続・変更・廃止について計画の見直しを進めます。

【課題】中心市街地は人口減少が進み、空き地や空き家が増加する等、「都市のスポンジ化」が進行しており、空き家の利活用等を含めた居住環境整備が必要です。

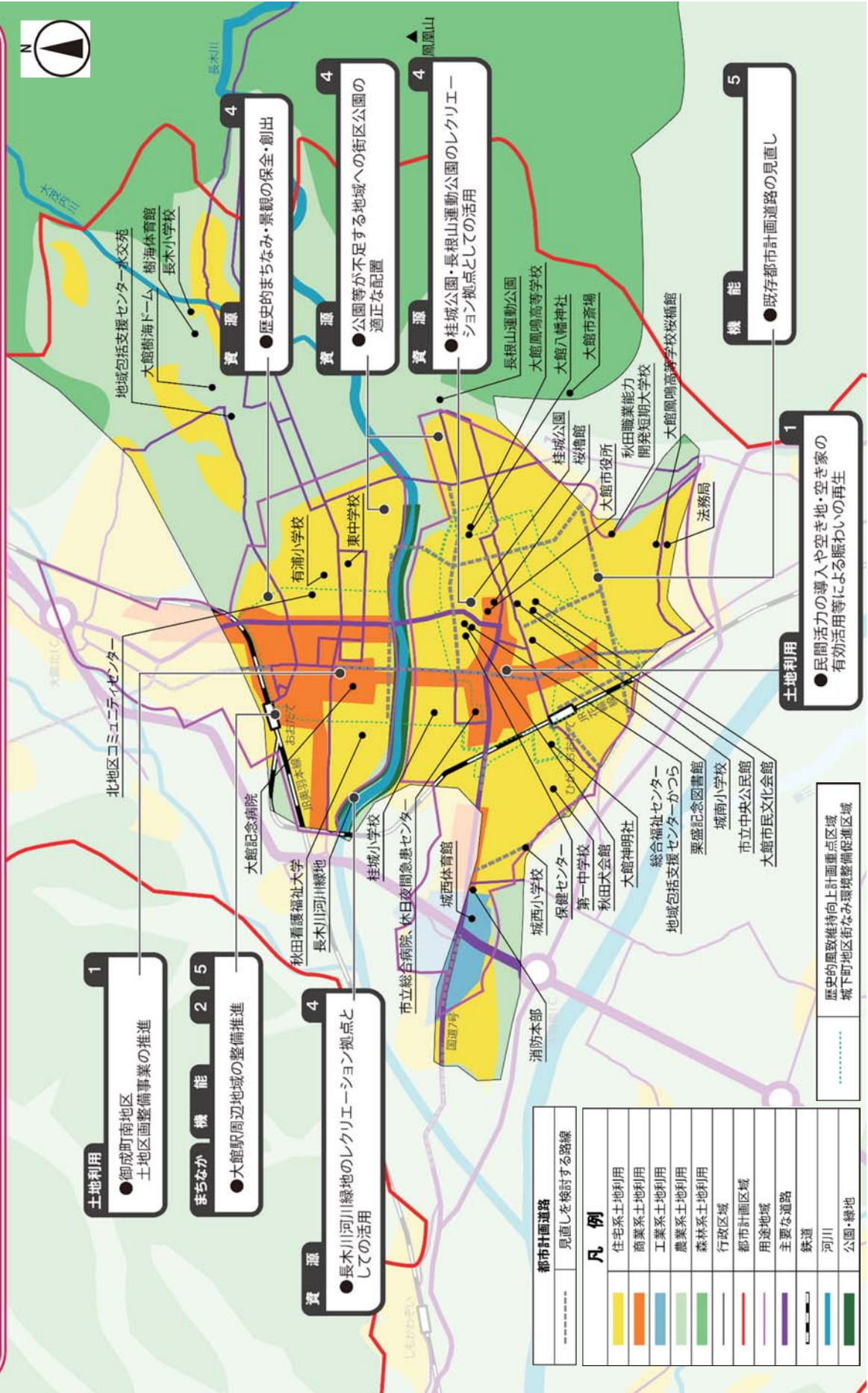
【方針】

- 既成市街地内の空き地や空き家、空き店舗を活用し、新たに移り住む人も呼び込めるような快適で安全な居住環境の形成を進めます。
- 現在、市全域を対象として取り組んでいる空き家対策事業や移住促進事業、住宅リフォーム支援事業を継続して行います。
- 既成市街地で住宅が密集している地域では、狭あい道路の改善や除雪対策、生活排水処理施設の普及等の促進を図ります。
- 住宅地においては、緑化運動の推進等によるうるおいのあるまちづくりを図ります。

大館東地域のまちづくり方針



大館東地域のまちづくり方針（拡大図）



1 土地利用
● 御成町南地区
土地区画整備事業の推進

2 まちなか 機能
● 大館駅周辺地域の整備推進

3 資源
● 長木川河川緑地のレクリエーション拠点としての活用

4 資源
● 歴史的まちなみ・景観の保全・創出

4 資源
● 公園等が不足する地域への街区公園の適正な配置

4 資源
● 桂城公園・長根山運動公園のレクリエーション拠点としての活用

5 機能
● 既存都市計画道路の見直し

1 土地利用
● 民間活力の導入や空き地・空き家の有効活用等による賑わいの再生

歴史的風致維持向上計画重点区域
城下町地区街なみ環境整備促進区域

都市計画道路	
見直しを検討する路線	
住宅系土地利用	商業系土地利用
工業系土地利用	農業系土地利用
森林系土地利用	行政区画
都市計画区域	用途地域
主要な道路	鉄道
河川	公園・緑地

コラム ～未来の日常をイメージしよう～

中心市街地にさまざまな都市サービス機能が集積し、市を代表するお祭りや催しが盛んに行われている大館東地域では、10年後にどのような暮らしをしているのでしょうか？

市民ワークショップで得られた意見を踏まえながら考えてみましょう。

- ・ 地元に戻ってくる人、みんなが暮らしを楽しむことがキーワード
- ・ 人、もの、情報が行き来するまちなかづくりを進めたい
- ・ 一人でできることは少ない、みんなで手を結んで地域づくりを行っていく

「常に人が集まる場所として、**正札竹村の跡地活用**」が実現できた
未来における日常を、具体的にイメージします。

○魅力あるまちなかづくり！

- ・ 正札竹村の跡地は、人々が集い、気軽に交流できる場として整備され、子どもからお年寄りまで多世代が楽しめる場所となっている。
- ・ 車を利用しなくても買い物に行ける、歩きたくなるまちなかづくりが推進されたことで歩行者が増え、リノベーションによって生まれ変わった新しいお店をゆっくり探検する楽しみもできたと評判になっている。
- ・ 子どもの遊ぶ声が響き、通学時は大人による見守り活動が行われ、安心して楽しく過ごせるまちなかになっている。
- ・ 愛犬家が集う場があり、犬をよく見かけるまちなかとして全国的に有名になっている。

○若者がさらに活躍する場づくり！

- ・ 若者を中心に、地域に足りないと感じるものや、地域がもっとよくなるためのアイデアを自由に出し合える場がある。
- ・ 起業を支援する仕組みや講習会等、人と人とを結びつける取り組みが盛んで、新しいことにチャレンジしやすい体制ができている。
- ・ お祭りや催しには若者が率先して参加し、地域活性化が進んでいる。

○将来に希望が持てる地域づくり！

- ・ 地元の企業や、大館で起業をした事例について子どもたちが知る機会が多くあり、地域でどのように働き続けるかイメージするための仕組みができている。
- ・ 一度地元を離れた人も、大館で頑張る人の話を耳にしたことでUターンを決めたり、リモートワークによる働き方を実現させたり、地域の取り組みが広く波及している。
- ・ MARUWWA（マルーワ）では、学生が勉強し、子育て中のママが起業準備をし、出張中のビジネスマンがリモートワークをする等、自由に活用されている。そこで出会った仲間たちで地域ビジネスを立ち上げ、新たな仕事をどんどん生み出している。

○地域の宝物がさらに輝く！

- ・ 秋田犬の里等を訪れる人で大館駅前が賑わい、歩いて大館を観光する人が増えている。
- ・ 大文字まつりや大館アメッコ市等、地域内外から訪れる人も多く、市を代表するお祭り・催しとして知名度が高まり、とんぶりや枝豆といった特産品も人気となっている。